2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月29日

上場会社名　　旭精機工業株式会社　　上場取引所　名

コード番号　　6111　　ＵＲＬ　https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/

代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）神谷　真二

問合せ先責任者　（役職名）執行役員事業開拓・ＩＲ室長　（氏名）片岡　秀樹　　ＴＥＬ　0561-53-3114

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－

決算補足説明資料作成の有無：　有

決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,596	11.7	△149	－	△138	－	△98	－
2026年３月期中間期	5,007	3.5	△53	－	△9	－	693	－

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△43.18	－
2026年３月期中間期	283.04	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	22,885	14,351	62.7
2026年３月期	23,883	14,114	59.1

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　14,351百万円　　2026年３月期　　14,114百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	－	－	60.00	60.00
2027年３月期	－	－			
2027年３月期（予想）			－	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.5	1	△99.2	10	△94.4	20	△97.5	8.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．８「２．中間財務諸表及び主な注記（４）中間財務諸表に関する注記事項（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	3,088,739株	2026年３月期	3,088,739株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	796,402株	2026年３月期	796,350株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,292,362株	2026年３月期中間期	2,448,633株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) …… 8
(セグメント情報等の注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の継続、金融資本市場の変動及び中東情勢の影響など、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、主に精密金属加工品及び小口径銃弾の売上増加により、売上高は55億９千６百万円と前年同期比11.7%増加したものの、利益面につきましては、主に精密金属加工品事業における次世代自動車部品（xEV部品）の立ち上げによる償却負担に加え、プレス機械をはじめとした機械類の売上が減少したことなどから、誠に遺憾ながら営業損失１億４千９百万円（前年同期は５千３百万円の営業損失）、経常損失１億３千８百万円（前年同期は９百万円の経常損失）、中間純損失９千８百万円（前年同期は６億９千３百万円の中間純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当中間会計期間の売上高は、46億７千８百万円と前年同期比53.3%の増加となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、主に2026年２月から生産を開始しました次世代自動車部品（xEV部品）の売上が期首より寄与したこと及び水晶振動子関連部品の売上が増加したことから30億１千２百万円と前年同期比56.7%の増加となりました。「小口径銃弾」は、政府の予算執行を受け16億６千６百万円と前年同期比47.4%の増加となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当中間会計期間の売上高は、９億１千７百万円と前年同期比53.1%の減少となり、その主な内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、電気自動車（EV）向け電池缶製造用プレスの売上が減少したため４億６千３百万円と前年同期比62.1%の減少となりました。「ばね機械」は、大型機種の売上が少なかったため２億９千３百万円と前年同期比10.2%の減少となりました。「自動機・専用機」は、自動車向けが減少したため１億４千２百万円と前年同期比63.4%の減少となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は前事業年度末より９億９千７百万円減少し、228億８千５百万円となりました。これは主に、投資有価証券が６億８千万円、仕掛品が６億７千２百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が23億３千７百万円減少したことによるものです。負債につきましては、12億３千５百万円減少し、85億３千３百万円となりました。これは主に、電子記録債務が３億６千９百万円、未払法人税等が２億９千万円、設備関係電子記録債務が２億５千６百万円それぞれ減少したことによるものです。純資産につきましては、２億３千７百万円増加し、143億５千１百万円となりました。これは主に、利益剰余金が２億３千６百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が４億７千４百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は33億４千２百万円となり、前事業年度末より23億３千７百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は７億９千８百万円となりました。これは主に、減価償却費を５億３千４百万円計上したものの、棚卸資産の増加により７億４千９百万円、仕入債務の減少により３億５千７百万円減少したこと及び法人税等で２億４千３百万円支出したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は13億９千６百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得により12億４千万円支出したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は１億４千１百万円となりました。これは主に、配当金で１億３千７百万円支出したことによるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年４月30日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2026年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,679,352	3,342,313
電子記録債権	719,541	1,024,188
売掛金	2,705,230	2,237,481
製品	237,396	325,042
仕掛品	2,700,046	3,372,146
原材料及び貯蔵品	1,062,870	1,052,575
その他	182,803	140,920
貸倒引当金	△8,100	△7,600
流動資産合計	13,279,141	11,487,067
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,472,685	2,689,370
機械及び装置（純額）	2,819,943	3,054,402
その他（純額）	1,999,363	1,555,487
有形固定資産合計	7,291,992	7,299,260
無形固定資産	327,759	442,453
投資その他の資産		
投資有価証券	2,494,757	3,175,225
その他	489,482	481,413
投資その他の資産合計	2,984,239	3,656,639
固定資産合計	10,603,991	11,398,353
資産合計	23,883,133	22,885,421

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,129,041	1,056,833
電子記録債務	1,003,408	634,358
短期借入金	2,100,000	2,100,000
１年内返済予定の長期借入金	162,380	324,760
未払法人税等	294,470	3,530
賞与引当金	236,400	197,154
設備関係電子記録債務	376,052	119,609
その他	1,101,852	684,738
流動負債合計	6,403,605	5,120,984
固定負債		
長期借入金	2,437,620	2,275,240
退職給付引当金	688,564	697,852
その他	238,834	439,453
固定負債合計	3,365,019	3,412,545
負債合計	9,768,625	8,533,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	6,856,541	6,620,007
自己株式	△1,679,683	△1,679,793
株主資本合計	12,820,476	12,583,833
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,294,031	1,768,057
評価・換算差額等合計	1,294,031	1,768,057
純資産合計	14,114,508	14,351,890
負債純資産合計	23,883,133	22,885,421

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,007,993	5,596,027
売上原価	4,210,691	4,956,522
売上総利益	797,301	639,505
販売費及び一般管理費	851,216	788,522
営業損失（△）	△53,914	△149,017
営業外収益		
受取利息	735	4,511
受取配当金	51,915	40,826
固定資産賃貸料	16,052	14,980
その他	1,777	3,947
営業外収益合計	70,480	64,265
営業外費用		
支払利息	16,665	44,616
固定資産賃貸費用	8,471	7,197
その他	448	1,704
営業外費用合計	25,585	53,517
経常損失（△）	△9,019	△138,270
特別利益		
投資有価証券売却益	903,134	－
特別利益合計	903,134	－
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	894,115	△138,270
法人税等	201,050	△39,280
中間純利益又は中間純損失（△）	693,065	△98,990

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	894,115	△138,270
減価償却費	330,667	534,965
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△100	△500
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,916	△39,245
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,160	9,287
受取利息及び受取配当金	△52,650	△45,337
支払利息	16,665	44,616
投資有価証券売却損益（△は益）	△903,134	－
売上債権の増減額（△は増加）	△61,068	162,982
棚卸資産の増減額（△は増加）	△873,456	△749,450
仕入債務の増減額（△は減少）	91,209	△357,530
その他	△133,146	26,824
小計	△675,821	△551,657
利息及び配当金の受取額	52,770	45,457
利息の支払額	△16,792	△49,049
法人税等の支払額	△54,253	△243,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	△694,096	△798,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△664,905	△1,240,587
無形固定資産の取得による支出	△101,031	△143,909
投資有価証券の取得による支出	△1,660	△1,693
投資有価証券の売却による収入	1,046,047	－
子会社株式の取得による支出	△50,281	－
その他	△15,430	△10,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	212,738	△1,396,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,600,000	－
自己株式の取得による支出	△292,701	△110
配当金の支払額	△148,948	△137,234
その他	△3,895	△3,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,154,454	△141,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	△1,040
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,673,150	△2,337,039
現金及び現金同等物の期首残高	3,858,402	5,679,352
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,531,552	3,342,313

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間損益計算書計上額（注）２
	精密加工事業部	機械事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,052,986	1,955,006	5,007,993	－	5,007,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	336,964	336,964	△336,964	－
計	3,052,986	2,291,971	5,344,957	△336,964	5,007,993
セグメント利益	253,233	49,740	302,973	△356,888	△53,914

（注）１．セグメント利益の調整額△356,888千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当中間会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間損益計算書計上額（注）２
	精密加工事業部	機械事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,678,903	917,124	5,596,027	－	5,596,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	75,849	75,849	△75,849	－
計	4,678,903	992,974	5,671,877	△75,849	5,596,027
セグメント利益又は損失（△）	264,425	△43,883	220,541	△369,559	△149,017

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△369,559千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。